

大川っ子の「生活習慣・家庭学習」の定着化を目指して

大川市教育力向上推進委員会
(事務局:市教育委員会学校教育課)

③「基本的な生活習慣や家庭学習」の定着を図る実践とその結果

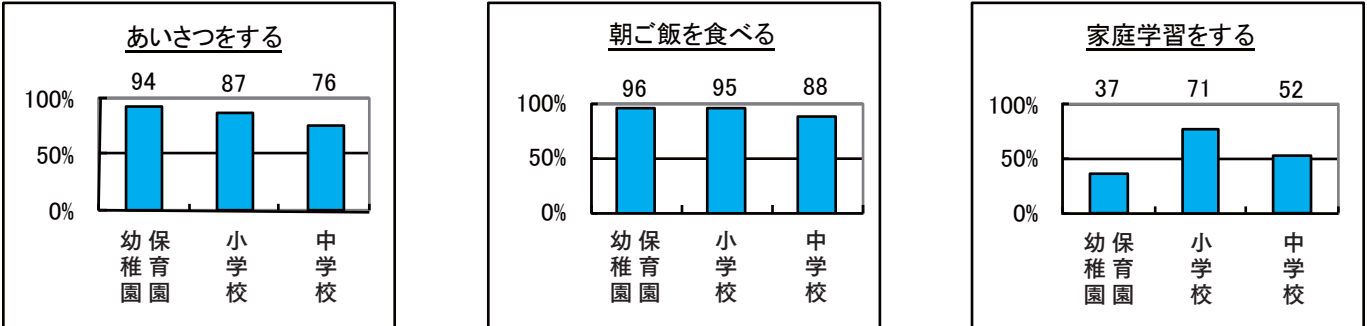
【生活・学習習慣チェックカード】の取組について
今年度は、【大川っ子に「基本的な生活習慣や家庭学習」の定着を図る】という目標を立て、「生活・学習習慣チェックカード」の取組を行っています。

この取組は、大川市の保育園児・幼稚園児から中学生までが、学期ごとに「週間、生活や学習に関するめあてを決めて、めあてが達成できたか、できなかったか記録し、自分自身と保護者でふりかえって見ようと実践を図りました。

●市全体の共通のめあてを左記の三つに絞り取組みました。
①あいさつをする。
②朝ごはんを食べる。
③家庭学習をする。

(園児は、読み聞かせをする。)
●園や学校ごとに決めためあては、下の表のとおりです。
●子どもと家族が話し合って決めた家庭のめあてについて「お手伝いをする」を中心に「読書をする」、「返事をはっきりする」等のめあてで実践を進めたところです。

園・学校	めあて
保育園・幼稚園(統)	食事中はテレビを消す 早寝をする (9時までに寝る)
大川小	そうじをがんばる 廊下を静かに歩く 食事中テレビをみない
宮前小	早起きをする
三又小	早起きをする 時間いっぱい掃除をする 字をいねいに書く
道海島小	整理整頓 六時半までに起きる
木室小	学校のことを話す 決まった時刻までに起きる
田口小	決まった時刻までに起きる
川口小	スリッパ、靴ならべ
大野島小	掃除をがんばる きまりを守る
大川中	元気な挨拶をする チャイム席を守る
三又中	自分から朝の挨拶をする 家庭学習を1時間以上する
大川東中	
大川南中	



【二回目の取組結果】について
一回目は、22年9月から10月にかけて一週間取組が行われ、大川市の保育園児・幼稚園児から中学生までの86%にあたる三千三百二十七人の実績報告がありました。

大川市では、保育園・幼稚園・小学校・中学校全体とおしての、はじめての取組でしたが、子どもと保護者が園・学校と一体となり熱心な取組がなされました。

その結果の一部を「グラフ」と「ふりかえり」で示します。

子どもたちのふりかえりの一例
「あいさつをするのが、最初ははずかしかったが、するうちにはずかしくなくなってきた。大きい声で言えるようになってきた。」「近所の人たちにあいさつはしていたけど、もっと大きな声であいさつしたい。」「自分の生活を見直すきっかけになった。」「できないこともあったけど、進んでやるということは大切なことだとわかりました。」等がありました。

保護者のふりかえりの一例
「習慣になるためには、まだまだ努力が必要ですが、一週間意識して取り組むことで、かんばれができるということがわかってよかったです。」「毎日何気なくしていることをチェックカードを記入することで気持ちを引き締めることができていると思います。」「等が寄せられました。」



【二回目の取組】について
二回目は、三学期が始まり、一月中旬に各園・学校ごとに日を決めて一週間、同じめあてで行われます。

まわりの人たちの温かいかわりが、子どもたちのがんばりに大いなる効果を生じます。子どものがんばりを見守ってください。教育は、共育といわれる由縁でもあります。

市民の皆様方も子どもたちが「おはようございます。」とあいさつをしたら、「おはよう」と返してあげてください。きっと「明日はもっと大きな声であいさつしよう」という力になるでしょう。ご協力よろしくお願ひします。

目指す子ども像と家庭、学校、地域の宣言文

【大川市が目指す子ども像】
志・感謝・誇りを持ち、キラリ輝く大川っ子
具体的な子ども像
○気持ちのよい、元気なあいさつができる子ども
○名前を呼ばれたら「はい」と返事ができる子ども
○身の回りの整理整頓ができる子ども
○してはいけないこと、しなくてはならないことなど、決まりを守る子ども
○自分から進んで取り組み、自分のことは自分でできる子ども
○感謝の心をもち、人の役に立つ子ども
○自分のよさを磨き、目標に向かって粘り強く頑張る子ども
○ふるさとのよさを見出し、愛着と誇りを持った子ども

【家庭宣言】— 家族の絆

- 早寝・早起き・朝ごはん・あいさつ・運動を生活の基本とします
- 朝の「おはよう」から始めて会話を増やします
- 子どもの良いところはしっかりほめ、悪いところは悪いとしつけます
- 家族一緒にの食事を大切にします
- 親子一緒にのふれあいを大切にします
- 子どもに家庭での役割を持たせ責任感や自立心を育てます
- ノーテレビデーの実施や親子読書や読み聞かせの時間をつくります
- 学校行事や地域事業に積極的に参加します

【学校宣言】— 師弟の絆

- 元気なあいさつが響きあう学校にします
- 率先垂範、師弟同行、子どもに分かりやすく指導します
- 強い使命感や誇りを持ち、自身を持って指導します
- きれいで、落ち着いた学習環境をつくります
- 子どもに深い愛情や責任感を持ち、向上心を持って指導します
- 子ども一人ひとりをよく理解し、分かる・できる・感じる楽しさを実感できる授業を行います
- 総合的な学校力で、子どもたちの人間力の育成を図っていきます
- 教職員全体で協働し、家庭、地域社会と連携協力していきます

【地域宣言】— 地域の絆

- 地域住民が率先して、子どもたちに規範を示します
- 地域の人材を子どもたちの育成に活かします
- 地域活動の中に、子どもたちに出番と役割を与え、参加させます
- 公民館を子どもたちの学習交流体験の場として活用します
- 地域ぐるみで子どもたちの健やかな成長を見守ります
- 地域ぐるみで学校を応援します
- 地域の文化を子どもたちに伝えます
- 子どもたちの生活体験を豊かにする「通学合宿」を推進します

①子どもたちの現状と課題
子どもたちの抱える課題として、実体験の不足や生活リズムの乱れなどによる「学ぶ意欲の低下」、過保護や過干渉による「自分で判断する力の低下」、またルールやマナーの大切さや心の教育の不十分さによる「規範意識の低下」、日常の運動量

や運動の機会の減少、遊びの変化による「体力等の低下」、更には不足・不便・不自由の体験不足による「耐性の欠如」等があげられます。

福岡県においては、これらの課題を解決するために、学校・家庭・地域が協力して取り組む「教育力向上福岡県民運動」

の推進を図っています。

②大川市教育力向上推進委員会
大川市においても、平成21年度に大川市教育力向上推進委員会を設置し、学校・家庭・地域が主体的にそれぞれの教育力を高めながら、子どもたちが

抱える課題を解決し、「志・感謝・誇りを持ち、キラリ輝く大川っ子」を育てようと、市民運動に取り組んでいます。

左の図とおりの「目指す子ども像と家庭、学校、地域の宣言文」を作成し、具体的な取組を展開しているところです。